## 令和7年 渋谷労働基準監督署管内の労働災害発生状況(令和7年6月末)

## 業種別発生件数

休業4日以上の死傷災害

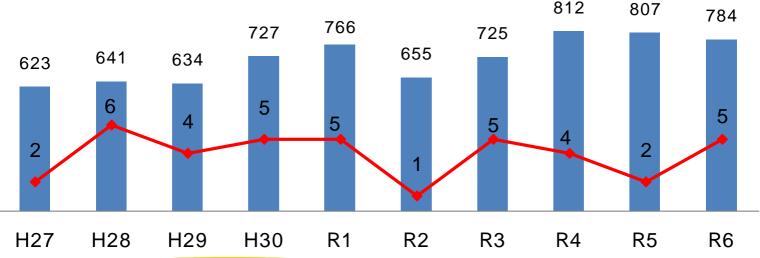
(労働者死傷病報告データ 新型コロナウイルス感染症り患を除く)

- \*建築工事業は建設業、小売業は商業、社会福祉施設は保健衛生業、飲食店は接客娯楽業、 ビルメンテナンス業は清掃業の内数
- \*陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業と陸上貨物取扱業の合計値 \*清掃業は「清掃と畜業」の略

5 21 17 16 7 5 61 51 37 25 32 27 39 37 54   2	(人)					- 1			第	 三次i	 産業	22	3人			
	5	21	17	16	7	5	61	51	37	25	32	27	39	37	54	2

					ハイ	その他    運輸運									その他	その他	
	製造業	建設業	建築工事業	陸上貨物運送事業	ヤー・ タク シー業	交・貨 物取扱 業	商業	小売業	保健衛 生業	社会福祉施設	接客娯楽業	飲食店	清掃業	ビルメ ン業	3次産業	(一次 産業)	計
件 数	5	21	17	16	7	5	61	51	37	25	32	27	39	37	54	2	279
前年	8	30	19	17	10	8	63	53	45	37	50	45	22	22	69	7	329
前年比	-3	-9	-2	-1	-3	-3	-2	-2	-8	-12	-18	-18	17	15	-15	-5	-50 (-15.2%)
都内 (朱字は 前年より 増加)	248	362	221	414	153	196	782	572	548	395	409	308	336	234	615	20	4083

## 災害の推移 折れ線グラフは死亡者数



## 転倒災害が全体の約3割で発生

- ・業種別では災害発生の多い順に商業61人、清掃業39人、保健衛生業37人の順となり、それぞれ全被災者数の1割を超えています。 これらを含む第3次産業全体で223人と被災者全体の約8割を占めています。
- ・ビルメンテナンス業では、前年同期より約68%増加 しています。
- ・転倒災害の約4割が「つまずき」で発生しています。
- ・墜落・転落は、はしごや脚立、トラックの荷台等からの比較的低所で発生しています。
- ・動作の反動・無理な動作では、腰痛災害が大半を占めています。

